

組合設立の経緯



県下に集積する組合員

戦後まもなく県内のめっき企業が各地域で連携を図る機運が高まり、昭和22年4月に前身となる長野県鍍金工業協同組合を設立。昭和40年11月には全県下各組合が一つの組織として団結し、任意組織としての長野県鍍金工業連合会を立ち上げ、地域を越えた連携を深めてきました。

高度経済成長期、公害規制等により業界を取り巻く環境は厳しさを増し、組合事業を通して公害対策や経営の近代化などを目指すため、昭和47年5月に長野県鍍金工業組合として法人化しました。

現在は東北信支部・中信支部・諏訪支部・伊那支部と4支部で構成され、42社の組合員を擁しており、これは全国的にも東京、愛知、大阪に次ぐ4番目の組合規模・売上高を誇っています。

めっきとは

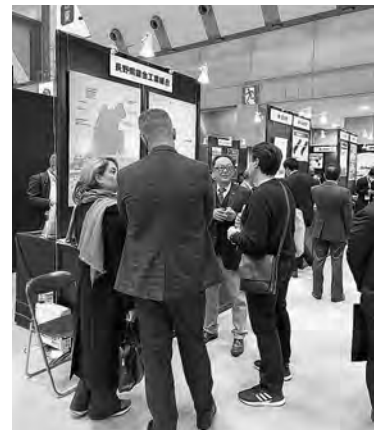
めっきと聞くと、金めっきなどの装飾性を連想しやすいですが、他にも腐食やサビを防ぐ耐食性、熱抵抗を抑える等の特殊な性質を加える機能付与性など、めっきがもたらす効果は様々です。まためっきの加工種類も多く、電気化学的に別の素材を電着させる「電気めっき」や、めっき膜として付けたい金属を含む溶液を作り、溶液中に製品を浸すことで化学反応を起こ

す「無電解めっき」、化学的処理を行い金属表面に化合物を生成する「化成処理」等、めっきには様々な技術が詰まっています。

自動車の外装や回路基板・電子部品などの工業製品のみならず、パソコンやスマートフォン、食器や衣類など多くのめっき技術が生活の中に浸透しており、現代社会に欠かすことのできない技術の一つです。

SURTECH2024へ初出展

SURTECHは、表面処理・表面改質・表面硬化など、あらゆる産業分野に対応した表面処理・加工技術の専門展示会として年に1度開催されており、めっき関連業種をはじめ、塗装・塗料関連業種や熱処理・表面硬化関連業種など、表面処理技術の要素展として多くの来場者が訪れる展示会です。



組合出展ブースの様子

今年の1月31日～2月2日に東京都のビッグサイトで開催されたSURTECH2024へ組合として初めて出展しました。展示会の来場者は4万人を超え、長野県が全国に誇るめっき事業者の集積地であることを広めるとともに、組合員の持つ様々な技術を発信することができました。

組合創立50周年を迎えて

令和4年に組合創立50周年を迎えました。50年間の組合の歩みの中では、各支部単位による排水自主パトロールの実施や研究会の開催等、業界の発展のために一丸となって取り組んできた歴史があります。

「製品製造において多品種少量生産を求められる昨今、すべての工程を自動化することは難しく、人手に頼ることが多い業界。工場見学や情報発信を通して、3Kと言われる現状を打破し、人と環境に優しい業界であることを広く知ってもらいたい」と服部俊直理事長は話されました。

理事長：服部 俊直

設立：昭和47年9月8日

TEL：026-266-0065

住所：長野市中御所岡田131-10



服部理事長

めっき製品は広く生活に浸透し、なくてはならない技術です。組合としての横のつながりを大切に、よりよい業界を築いていきたいです。